



JPI催しのご案内

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

2011

10

月

開催要領

会 場	社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日 時	平成23年10月27日(木) [第1部]14:00~15:00 [第2部]15:15~17:00
参加費	JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1講演あたり)

第1部 第187回包装ラインシステム化研究会

14:00~15:00

【テーマ】「富山県医薬品産業の現況について」

各都道府県別医薬品生産金額や富山県医薬品生産金額の推移、富山県製薬企業の設備投資状況など躍進する富山県医薬品産業の現状を紹介させていただくとともに、富山県と連携しながら当連合会が取り組ん

でいる世界の薬都連携チャレンジ事業やスイス・バーゼル地方等との国際交流事業など各種事業を紹介させて頂く。
最後に当連合会が進める今後の薬業振興策についてお話をさせて頂く。

【講 師】社団法人 富山県薬業連合会 専務理事
【コーディネーター】C K D株式会社 顧問

松 澤 孝 信 氏
飯 島 剛 氏

第2部 第189回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】「東京都商品等安全対策協議会報告」

【講演①】～子供用水薬を中心とした医薬品容器の安全対策～について

【講 師】東京都生活文化局 消費生活部 生活安全課長

大 野 正 隆 氏

東京都商品等安全対策協議会は、東京都の委嘱を受けた消費者、事業者、学識経験者等により構成され、商品等による危害や危険から都民を守るため、東京都が選定したテーマについて検討・協議を行い、安全対策について提言している。
平成22年度には、東京都が実施した乳幼児の誤飲に関するアンケート調査や、

厚生労働省及び財団法人日本中毒センターによる報告から、子供の医薬品類の誤飲事故が多いことを把握するとともに、海外では、子供が開けにくいチャイルドレジスタンス容器が子供の誤飲防止対策として一定の効果をあげているという報告から、「子供に対する医薬品容器の安全対策」をテーマとして、検討・協議を行った。本講演では、この協議会報告について紹介する。

【講演②】～小児の誤飲・医薬品容器等の安全対策～について

【講 師】国立成育医療研究センター 薬剤部 副薬剤部長

石 川 洋 一 氏

小児の誤飲による事故は毎年頻繁に発生し後を絶たない。しかしその実態は一般に知られていない。誤飲事故は特に1～2歳児に多く、かつ6歳近くまで幅広い年齢層で発生する。誤飲の原因として件数が多いのは、タバコと医薬品であり、かつ他の原因物と比べ医療機関への受診が必要な場合が多い。国立成育医療研究センターの経験では、その原因は2つに分類される。1) 保護者が小児の誤飲事故について認識がなく、乳幼児の手の届く場所に誤飲の原因となるものが放置された。2) 誤飲の原因となるものを小児が自ら引き出しや冷蔵庫から取り出して誤飲を起こした。

1) については、国民に対しての小児誤飲事故防止の積極的な啓発が必要と考える。
2) については、「小児の誤飲事故は保護者が注意していても発生する」ことを認識して、小児が容易に開けられない容器にしまうなどの積極的な予防策の推進が必要である。

これらに対して努力を払えば、多くの誤飲事故は未然に防げると考えられる。保護者の注意の目が届かないところにも安全を求めるためには、「安全のために小児が開けにくいように工夫された包装・容器: Child Resistant Packaging (以下、CRP)」を導入する方法も必要であり、実際に米国ではCRPの法制化で小児の誤飲事故を大幅に減少させることに成功している。
今回は小児誤飲事故を防止するために必要な知識と提案を、東京都商品等安全対策協議会で行った検討を含めてお話ししたい。

【コーディネーター】大正製薬株式会社 デザイン部 表示管理グループ 包装管理士
D I C株式会社 包装資材技術開発プロジェクト プロジェクトリーダー 包装専士

原 寿 氏
松 原 弘 明 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

10月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法 人 会 員 ・ 個 人 会 員 ・ 一 般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会 社 名		T E L	
所 在 地	(〒)	F A X	
参 加 者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

10月見学会 第266回月例見学会

【見学先】 赤城乳業㈱ 本庄千本さくら「5S」工場 埼玉県本庄市児玉字下川原850-10
 【日 時】 平成23年10月7日(金) 13:30~15:30
 【定 員】 30名 ※受付は会員の方を優先致します
 【集合場所】 JR高崎線「本庄駅」※集合後バスにて移動(予定)
 【参加費】 JPI会員の方 無料／一般の方 1名につき2,100円
 【交通費】 最寄り駅から見学先までの往復バス交通費として 1名につき1,000円
 【見学先の概要】 今年、会社設立50周年、「ガリガリ君」誕生30周年の節目を迎える赤城乳業。右肩上がりで売り上げを伸ばす同社は昨年2月、埼玉県内に本庄千本さくら「5S」工場を建設し、本社深谷工場との2拠点体制を整えた。千本さくら「5S」工場は、自動化や衛生面での強化を図った削氷設備をはじめ、高速全自動を追求したバーアイス生産設備「バーサイイン」、アイスクリーム業界では初の導入となる多列縦ビロー包装機、インバーター搭載の省エネスクリーン型冷凍機を採用したトンネルフリーザー、高効率のパレタイズ設備や冷凍自動倉庫、中空糸膜を使った井水高度ろ過システムなど最新鋭の機械・設備を揃えている。

★お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。
 ★お申し込み方法は紙面に第266回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。
 ★参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。
 ★同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

第47回包装情報ステーション

グローバルサプライチェーンへの対応 ～持続的な競争優位実現のための物流革新～

開催要領

【日 時】 平成23年10月6日(木)
 13:00~17:00
 【会 場】 (社)日本包装技術協会 会議室
 東京都中央区築地4-1-1 10F
 【主 催】 (社)日本包装技術協会 関東支部
 【参加費】 会員:5,250円／1名(税込)
 一般:10,500円／1名(税込)
 【共 催】 日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会

《第1部》

13:00~13:40

【テーマ】 物流総合効率化法の活用促進

【講 師】 国土交通省総合政策局物流政策課 課長補佐 谷貝 浩一 氏

《第2部》

13:50~15:20

【テーマ】 マースジャパンのサプライチェーン戦略

【講 師】 マースジャパンリミテッド 供給物流統括部 部長 矢部 実 氏

《第3部》

15:30~17:00

【テーマ】 ニトリの強さの秘密～SPA(製造物流小売業)の実態～

【講 師】 (株)ニトリ 物流部 運輸マネジャー 長 達也 氏

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からもご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 10F 担当:小川 TEL:03-3543-1189 e-mail:ogawa@jpi.or.jp

第49回全日本包装技術研究大会

～開催のご案内～

～名古屋大会～
 愛知県産業労働センター WINC AICHI
 平成23年12月8日(木)・9日(金)

【主 催】 社団法人 日本包装技術協会 本部・支部
 【期 日】 平成23年12月8日(木)～9日(金)
 【会 場】 愛知県産業労働センター WINC AICHI
 【発表件数】 70件(予定)
 【発表内容】 包装又は包装資材に関する研究／新技術・新システム・新素材の紹介／廃棄・リサイクルの容易性／包装の現場における改善・合理化の事例／省力・省資源・コスト低減の事例など
 【部 会】 ①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

聴講者募集用パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい

◆お申込及びお問合せ先◆ (社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

第267回 関東支部 月例見学会 【平成23年11月度】

キャノンマーケティングジャパン(株)／キャノンITソリューションズ(株) ～3D CADデータを活用したシミュレーション体験会～

【開催日時】 平成23年11月24日(木) 15:00~17:00
 【参加費】 JPI法人・個人会員の方無料・一般の方 2,100円／1名
 【定 員】 30名 ※受付は会員の方を優先致します

スケジュール

14:50~15:00	集合・受付開始
15:00~15:50	MRの概要、機能、活用範囲について
15:50~16:30	3D CADデータを活用したシミュレーション体験
16:30~17:00	質疑応答・解散

【集合時間】 14時50分 <時間厳守>
 【集合場所】 キャノンITソリューションズ(株) 東京都港区三田3-11-28
 【申込期日】 9月30日(金) ※余裕がある場合は延長致します

見学先の紹介

MR(Mixed Reality:ミクストリアリティ)とは、自分の視線の中で現実世界と仮想世界を融合させる新たな三次元の表示技術です。
 このMR技術により具体的には、三次元CG(コンピュータグラフィックス)の画像と、ビデオカメラの実写映像を融合した世界をヘッド・マウント・ディスプレイを使って見る事ができます。現実には存在しない仮想物体がそこにあるかのように好きな位置や角度から「自分視点」で観察できます。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からもご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

【個人情報取扱いについて】

1. 個人情報は「(社)日本包装技術協会 関東支部 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 社団法人 日本包装技術協会 関東支部 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
 ●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>